

## 今年度の学校研究について

新年度がスタートしました。来週からは本格的に授業が始まります。1年間の授業を通して生徒たちにつけさせたい力を共有し、教職員みんなで作り上げましょう。慌ただしい中ですが、まずは生徒たちとよいスタートとなるように、本校の授業のルールを確認し、1年間を通してめざす生徒の姿や授業のスタイルを共有したいと思います。

また、今年度も人権教育推進校にも指定されています。よろしくお願いいたします。

- 1 令和6年度の学校研究
- 2 今年度のめざす授業
- 3 各教科の「めざす授業」
- 4 「かわきた授業スタイル」
- 5 授業オリエンテーション
- 6 人権教育カリキュラム
- 7 学習の手引き

# 1 令和6年度の学校研究

## (1) 学校研究主題

自ら伝えてつなげる学びへ

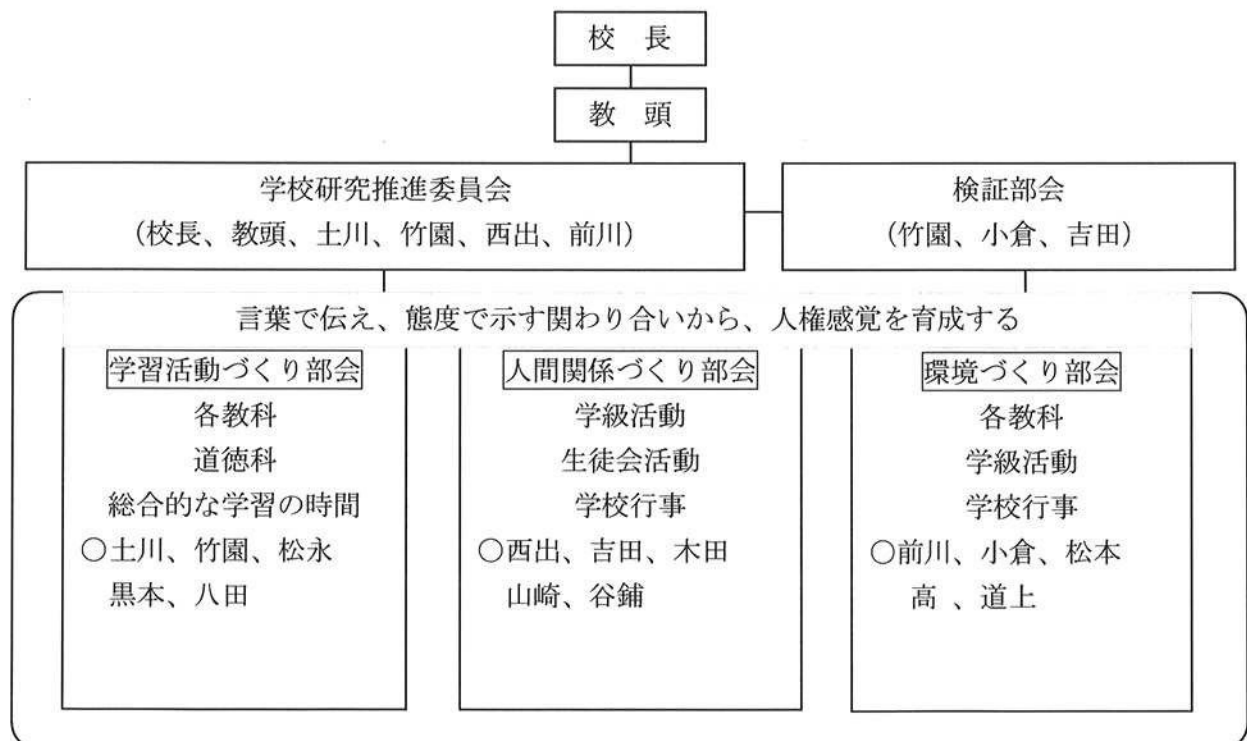
— 自他を尊重し、ともに高め合い、全員でつくりあげる温かい授業をめざして —

## (2) 主題設定の理由

昨年度は、教育活動全体を通して人権尊重の視点に立った様々な取組を推進してきたことにより、自分も他者も大切にしようとする気持ちの高まりが見られたが、自己に対する肯定的態度の高まりが十分ではなかった。そこで、本年度は自他の人権感覚の育成を土台とした学校づくりをめざして本調査研究を行う。その際には、これまで本校が実践してきた生徒主体の取組の他、全ての教育活動において、意図的に生徒指導の実践上の4つの視点を取り入れた指導を行う。また、様々な教科において、家庭・地域等との連携を積極的に行い、人権教育を総合的に推進していくことで、さらに「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる人権感覚」を養い、自尊感情や自己肯定感を高めることができると考えた。

校内では、「学習活動づくり」、「人間関係づくり」及び「環境づくり」が一体となった取組を全教職員で推進していく。「学習活動づくり」では、生徒が主体的に授業に取り組み、自ら問題や課題、学習方法等を選択・決定し、一人一人が大切かつ必要とされる温かい授業をめざす。「人間関係づくり」では、能動的に聴くことで互いの相違を認め、受容し、自己有用感の高まりをめざす。また、相手の立場に立って考え、行動できる共感的な人間関係の育成もめざす。「環境づくり」では、人間関係を深め、安心して過ごせる学級・学校づくりをめざし、生徒一人一人が、個性的な存在として尊重され、安全かつ安心して教育を受けられるように配慮する。このような取組を進めることで、生徒の人権感覚を高めることができると考えている。

## (3) 校内組織



#### (4) 実践の重点及び具体的な取組

人権教育がめざす資質・能力の育成に向けて、「知識的側面」、「価値的・態度的側面」及び「技能的側面」を総合的に位置付けながら、以下の取組を推進していく。

##### ①人権尊重の視点に立った「学習活動づくり」の推進

###### ア 生徒一人一人の可能性を引き出す授業づくりの推進

- ・「かわきた授業スタイル」を軸に、個での学びだけではなく、他者との学び合いの中でも考えを深められるように【わ：わかった！できた！に向けて伝え合おう】を重点的に取り組む。
- ・教科部会や校内研修会、授業交流を充実させ、教科等横断的に取り組む。

###### イ 自己決定の場を大切にした生徒主体の授業への改善

- ・生徒会や各学年のリーダー会が中心となり、自分たちで創り上げる授業の実現のために生徒集会を行う。
- ・教科部会や校内研修会、要請訪問等を行い、単元構想を練り、生徒に委ねる場面の工夫の仕方について考えたり、学んだりする場を設ける。

###### ウ 家庭・地域、関係機関との連携

- ・全学年の総合的な学習の時間や道徳において、家庭や地域、人権擁護委員の方等をゲストティーチャーとして招き、講話していただいたり、生徒からインタビューをしたりして課題解決に生かす。
- ・異年齢とのコミュニケーション力や社会性を伸ばすために、職場体験や保育園児との交流を行う。

##### ②人権尊重の視点に立った「人間関係づくり」の推進

###### ア 生徒指導の実践上の4つの視点に立った組織的な教育活動の充実

- ・授業や学校行事等、全ての教育活動において、意図的に生徒指導の実践上の4つの視点を取り入れて指導にあたる。

###### イ 能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーションスキルを高める場の充実

- ・授業において学習形態を工夫し、他者との伝え合いの場を設ける。
- ・各学級や学年において定期的に構成的グループエンカウンターを行う。

###### ウ 多様性に対する開かれた心と肯定的評価を高めるための生徒会活動「咲（えみ）プロジェクト」の推進

- ・生徒会「咲（えみ）プロジェクト」の取組として、学期ごとにテーマを変えて一言スピーチを行う。

##### ③人権尊重の視点に立った「環境づくり」の推進

###### ア 安全・安心な生活・学習ができる場づくりの推進

- ・生徒会委員会や各学級での取組を伝えるコーナーや、学習の成果物や学習で使ったもの等を掲示する。

###### イ 校内や教室内の人権に関する掲示やコーナーの充実

- ・毎月の人権に関する取組の掲示物や人権に関する本のコーナーを生徒自らがつくっていく。

###### ウ 人権学習の成果を校内外へ発信する機会の設定

- ・毎月末を「道徳の日」とし、教科書や道徳ノートを活用して道徳での学びを家庭で共有する。
- ・人権教育に関する取組を各種たよりや本校ウェブページ等で発信する。

###### エ ボランティア活動の充実

- ・かわきたボランティアクラブを立ち上げ、特別支援学級生徒と交流学級生徒の関わりを増やす。

(5) 実施計画

時 期	内 容
4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究推進委員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育推進に向けた研究全体についての協議</li> </ul> </li> <li>○アンケート調査の実施</li> <li>○第1回校内研修会（各部会で役割分担の確認）</li> <li>○生徒会 咲（えみ）プロジェクト開始</li> <li>○生徒会主催の生徒集会①               <ul style="list-style-type: none"> <li>「授業のルール4か条、かわきた授業スタイル」</li> </ul> </li> <li>○第2回校内研修会（講師招聘①）</li> </ul>
5 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育講演会【インターネットによる人権侵害】</li> <li>○憲法から考える人権【同和問題】</li> <li>○第3回校内研修会（提案授業）</li> <li>○ボランティア活動</li> </ul>
6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第4回校内研修会（講師招聘②）</li> <li>○計画訪問（第5回校内研修会）</li> <li>○授業交流週間</li> </ul>
7 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育実習（保中連携）【子供】</li> <li>○人権作文</li> <li>○研究推進委員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期の反省と2学期の取組についての協議</li> </ul> </li> <li>○学校評価の実施</li> <li>○職場体験</li> <li>○ボランティア活動</li> </ul>
8 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第6回校内研修会（模擬授業）</li> </ul>
9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒会主催の生徒集会②               <ul style="list-style-type: none"> <li>「主体的な授業、協働的な学びをめざして」</li> </ul> </li> <li>○修学旅行（平和教育から考える人権）               <ul style="list-style-type: none"> <li>○第7回校内研修会（講師招聘③）</li> </ul> </li> </ul>
10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「人権について考える」（地域人材の活用）               <ul style="list-style-type: none"> <li>【子供、高齢者、外国人】</li> </ul> </li> <li>○文化祭（生徒会主催、自己開示・他者理解）</li> <li>○ボランティア活動</li> </ul>
11 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思春期講座（地域人材の活用）               <ul style="list-style-type: none"> <li>【性的指向、性自認】</li> </ul> </li> <li>○人権教育研究発表会（講師招聘④）</li> </ul>
12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権集会【ハンセン病患者等】</li> <li>○第8回校内研修会（研究発表会のふり返し）</li> <li>○学校評価の実施</li> <li>○研究推進委員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の反省と3学期の取組についての協議</li> </ul> </li> <li>○ボランティア活動</li> </ul>
1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒会主催の生徒集会③               <ul style="list-style-type: none"> <li>「全員でつくりあげる温かい授業をめざして」</li> </ul> </li> </ul>
2 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第9回校内研修会（2年間の学校研究のまとめ）</li> <li>○ボランティア活動</li> </ul>
3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究推進委員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の取組についての協議</li> </ul> </li> </ul>

## (6) 検証方法

①生徒・教職員アンケートで検証する。各項目では具体的な内容も記述させる。(4・7・12月)

	質問内容【生徒アンケート】	成果指標 (%)	
		当てはまる	肯定的回答
1	自分のよいところを知っている(気付いている) 【価値的・態度的側面】	60	90
2	自分と同じように、相手のことを大切にしている【技能的側面】	60	90
3	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている 【技能的側面】	60	90
4	思いやりを持った行動ができている【技能的側面】	60	90
5	学校が楽しいと思う【価値的・態度的側面】	60	90
6	学校は、もめごとなど私たちが困っていることについてよく助けてくれると思う	60	90

	質問内容【教職員アンケート】	成果指標 (%)	
		当てはまる	肯定的回答
1	人権教育の指導を進めるにあたり、協力的・参加的な学習を取り入れる、体験活動や交流活動を多様に組み入れるなど、指導方法の工夫を行っている	60	90
2	集団活動において、生徒が、自己を生かすことのできる場を適切に設けている	60	90
3	集団活動において、生徒が、互いのよさを認め合い協力する機会を適切に設けている	60	90
4	積極的生徒指導の視点に立って、相互に人権を尊重し、支え合う人間関係づくりを援助している	60	90
5	人権教育に関する連携に限らず、家庭や地域と連携した取組を日頃から積極的に進め、相互の信頼醸成に努めている	60	90

②授業や特別活動の振り返りで検証する。

- ・ねらいを設定して実践し、生徒が書いた振り返りから、ねらいにそった記述が見られるか、意識などの変化の記述が見られるかを読みとる。

< 学校研究構想図 >

経営理念

キラリと輝く学校づくり

—笑顔あふれる学校、信頼される学校を—

教育目標

「高い知性と豊かな情操を持ち、心身たくましく、創造的で自立した生徒を育てる」

学校経営計画 今年度の重点目標

確かな学力の向上 (知)

①生徒主体の授業づくり ②自他を尊重し、ともに高めあう人権意識の育成

豊かな心の育成 (徳)

①生徒指導の4つの視点を取り入れた生徒指導の推進 ②自己指導能力の育成  
③自尊感情や自己肯定感の育成

学校研究主題

自ら伝えてつなげる学びへ

—自他を尊重し、ともに高め合い、全員でつくりあげる温かい授業をめざして—

めざす生徒の姿

- ・自ら学びに向かい、粘り強く課題を解決しようとする生徒
- ・どのように学びを進めるか自ら考え、決定し実行する生徒
- ・同じ考えも異なる考えも受けとめ、自己の考えを広げ深める生徒
- ・自分の考えを持ち、伝え合い、自分たちの言葉で授業をつないでいく生徒
- ・自分も相手も大切にしている生徒

学習活動づくり

- ・生徒一人一人の可能性を引き出す授業づくりの推進
- ・自己決定の場を大切にしたい生徒主体の授業への改善  
【「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実】
- ・家庭・地域、関係機関との連携

人間関係づくり

- ・生徒指導の4つの視点に立った組織的な教育活動の充実
- ・多様な他者と協働し、コミュニケーションスキルを高める場の充実
- ・生徒会活動の推進

環境づくり

- ・安全・安心して生活・学習できる場づくりの推進
- ・人権に関する掲示コーナーの充実
- ・人権学習の成果を校外へ発信する機会の設定
- ・ボランティア活動の充実

## 2 今年度めざす授業

### (1) 学校研究主題

自ら伝えてつなげる学びへ

— 自他を尊重し、ともに高め合い、全員でつくりあげる温かい授業をめざして —

### (2) めざす生徒の姿

- ・自ら学びに向かい、粘り強く課題を解決しようとする生徒
- ・どのように学びを進めるか自ら考え、決定し実行する生徒
- ・同じ考えも異なる考えも受けとめ、自己の考えを広げ深める生徒
- ・自分の考えを持ち、伝え合い、自分たちの言葉で授業をつないでいく生徒
- ・自分も相手も大切にしている生徒

### (3) 実践の重点及び具体

#### ① 人権尊重の視点に立った「学習活動づくり」の推進

生徒一人一人の可能性を引き出す工夫と自己決定の場の工夫を柱として、生徒主体の授業及び授業改善を進めていく。

#### 1. 生徒一人一人の可能性を引き出す工夫

スモールステップであったとしても、生徒が1つでもできることが増え、「わかった!できた!」と感じられる授業をめざす。

##### 【具体的な取組】

- ・「かわきた授業スタイル」を軸に、個での学びだけではなく、他者との学び合いの中でも考えを深められるように、特に【わ:わかった!できた!に向けて伝え合おう】を重点的に取り組む。
- ・各教科での学びを他教科で活かし、より深められるように教科等横断的に進めていく。(人権教育がキラム)

#### 2. 自己決定の場の工夫

生徒指導の4つの視点の中の「自己決定の場」を越えて、単元全体を通して、教師側の支援等がなくても、生徒自ら考えてどのように学んでいくかを選択・決定できる資質・能力を育む授業をめざす。

##### 【具体的な取組】

- ・生徒が学びの中で選択するだけでなく、それを活用して学びを進めていけるような手立てを考える。
- ・単元全体を見通し、どの小単元で生徒に委ねる場面を設定するのかを考える。
- ・生徒主体の活動5割をめざして授業づくりを行う。

<指導計画について>

	第1学期	第2学期	第3学期	第4学期	第5学期
	家庭1-3			音楽3-1	音楽1-1
1	さまざまな食品とその選択 <食品はどのような流れで私たちのもとに届くのだろうか>			ポピュラー音楽 <ポピュラー音楽の良さを味わおう>	Let's Create <場面を表現するために、どのように工夫するとよいか>
	家庭1-3		1-2 テスト		音楽1-2
	さまざまな食品とその選択				Let's Create <場面を表現する>

生徒主体の活動5割の授業に○をつけてください。

### 3. 家庭・地域、関係機関との連携

学校と家庭・地域、関係機関が連携・協力して生徒を育て、開かれた学校をめざす。

#### 【具体的な取組】

・各教科において、家庭や地域等と連携した継続的な取り組みを、見直しをもって行っていく。

#### ②人権尊重の視点に立った「人間関係づくり」の推進

- ・生徒指導の実践上の4つの視点に立った組織的な教育活動の充実
- ・能動的な傾聴、適切な自己表現を可能とするコミュニケーションスキルを高める場の充実
- ・多様性に対する開かれた心と肯定的評価を高めるための生徒会活動の推進

#### ③人権尊重の視点に立った「環境づくり」の推進

- ・安全・安心な生活・学習ができる場づくりの推進
- ・校内や教室内の人権に関する掲示やコーナーの充実
- ・人権学習の成果を校内外へ発信する機会の設定

.....

#### <今後の予定>

- 4月23日(火) 校内研修会②(園田先生)「人権尊重の視点に立った授業づくり」
- 5月2日(木) 校内研修会③「今年度めざす授業(提案授業)」
- 6~7月 計画訪問
- 7月3日(水) 校内研修会④(園田先生)「授業参観」
- 8月27日(火) 校内研修会⑤「指導案検討」
- 9月19日(木) 人権教育講話(園田先生)
- 11月1日(金) 校内研修会⑥「人権教育研究発表会に向けて」
- 11月14日(木) 研究発表会準備
- 11月15日(金) 人権教育研究発表会
- 12月9日(月) 校内研修会⑦「2学期の振り返りと3学期に向けて」
- 2月21日(金) 校内研修会⑧「今年度の振り返りと来年度に向けて」

#### 園田 雅春先生

大阪府高槻市立小学校教諭、元大阪教育大学教授・同大学附属平野小学校校長を務め、退職後には大阪成蹊大学教授、びわこ成蹊スポーツ大学客員教授などを歴任。

現在は、教育実践研究とともに、月刊誌の特別編集員・連載執筆や、全国各地で教育講演をされている。これまでに加賀市、小松市、金沢市と石川県内でも講演をされている。

#### <主な著書> (本校の職員図書にもあります)

- 「つながり」を育み授業を愉しむ
- 「自尊感情が育つ元気教室」
- 「道徳科の「授業革命」人権を基軸に」など





	求める生徒の姿	教師の姿	人権尊重の視点に立った 授業づくりのポイント
つかむ	<b>1 学習課題をつかむ</b> ・自分たちで課題を見つける ・課題を把握し、意欲をもつ (不思議だ、知りたい、考えたい、学びたい) ・学習の見通しをもつ	<b>1 課題提示</b> <b>㉔【課題意識を持たせる】</b> ●課題の設定の工夫 ・ねらいに迫るための課題 ・何をすればよいかわかりやすい課題 ・必然性があり生徒の興味関心を高める課題 ・生徒自らが考えた課題 ●課題提示の工夫	<b>①自己存在感</b> ・生徒の既習事項や興味・関心等を把握し、様々な視点から解決できるように課題設定の工夫を行う。 <b>③自己決定の場</b> ・生徒自ら課題を見つけ、見通しをもち、思考・表現できるようにする。
	<b>2 自分の考えをもつ</b> ・既習事項や資料等を使って自分の考えをもつ ・考えを表現する  <b>3 考えを伝え合い、深める</b> 自分の考えを伝える ↓ 根拠を明確にして話す ↓ 自分の考えと比較しながら他者の考えを聴く ↓ 他者の考えを生かして自己の学びを深める	<b>2 自分の考えをもつ場の設定</b> ・考える視点を明確にする ・個人思考の時間を確保する ・考えをもてない生徒への手立てを準備する ・言葉や図、絵など教科の特性を生かして、自分の考えを表現する活動を取り入れる  <b>3 思考を広げ、深める学び合い</b> <b>㉕【わになって学び合い、深める】</b> ・考えさせる視点を明確にする ・活動の目的に応じて有効且つ必然性がある学習形態を活用する。 ・問い返しや切り返しの発問を用意しておく ・「自分の考えと比べて聴く」「関連付けて話す」の方法を指導する ※教師の説明ではなく生徒の活動で課題解決に迫れるようにする	<b>①自己存在感</b> ・個に応じた改善方法等を示し、教師自身が生徒一人一人を大切にしている姿勢を示す。 <b>③自己決定の場</b> ・生徒の実態や学習内容に応じた学習方法を提示し、選択の幅を与える。  <b>①自己存在感</b> ・互いの発言を最後まで聴いたり、相手の話に反応しながら聴いたりする習慣を身に付けさせる。 <b>②共感的人間関係</b> ・自分の考えとは異なる意見も認め、理解する態度を育てる。 <b>③自己決定の場</b> ・生徒の実態や学習内容に応じた学習形態や活動の場を提示し、選択の幅を与える。
ふかめる (個↓集団↓個)	<b>4 まとめる</b> ・自分の言葉でまとめる ・今日学んだことがわかる	<b>4 まとめ</b> <b>㉖【今日の学びをまとめる】</b> ●課題とまとめの整合性の意識 ・ねらいの達成に必要な言葉を引き出し、生徒の言葉でまとめる ・生徒が「わかった」「できた」と実感できるまとめをする ※まとめは生徒全員が同じ内容になるようにする	<b>③自己決定の場</b> ・生徒の実態や学習内容に応じた学習成果のまとめ方を多様に提示し、選択の幅を与える。
	<b>5 振り返る</b> ・「できた」を実感する ・新たな課題に気づく	<b>5 振り返り</b> <b>㉗【確かめよう。できるかな?】</b> ・振り返りの視点を明確にし、振り返りの内容を充実させる ・練習問題で定着を図る。 ※ふり返りは生徒それぞれが自分の学びや変容に対して表す	<b>③自己決定の場</b> ・自他の学習課題や解決方法、学習の仕方やまとめ方等を振り返って交流する時間を設定し、他者の成果に学ぶとともに、今後の学習課題や方法について選択・決定できる場を工夫する。



### 3 各教科の「めざす授業」

## 【音楽科】

生徒が主体的に取り組み、音楽のよさや美しさを味わったり、伝えたりできる授業をめざす

### 1 一人一人の可能性を引き出す工夫

- ・歌唱では、個人思考や個人練習の時間を設け、その後パートや全体での活動を行い、様々な角度から歌唱の表現方法を考えたり、パートや全体で合わせたりして、曲にふさわしい表現方法を考えられるようにする。個人練習やパート活動、全体合唱の際には、ICT 機器を活用し歌声を録音したり、歌っている姿を録画したりして自分たちの歌声や姿をすぐに確認できるようにする。また、鍵盤アプリ等でいつでも音の確認ができるようにしたり、ヘッドホンをして各自の chromebook で個人練習ができるようにしたりする。
- ・音素材の特徴を生かした創作では、音素材を決まった音の出し方に限らず、様々な物を使って音を出させ、自分のイメージに近い音になるように考えさせる。

### 2 自己決定の場の工夫

- ・前時の取り組みや振り返りから、本時の課題を考える。
- ・創作では、様々な音素材を用意し、自分たちが表現したい場面に合ったものがどれなのか、実際に音を出して確認し、グループでアドバイスし合いながら音やリズムなどを考え、決定させる。
- ・歌唱では、パート活動の中で、パートリーダーが中心となり、どのように練習を進めていくか、いくつかのパターンを提示し、選択・決定できるようにする。

### 3 人権教育に関わる他教科との関連

○1年「アジアの諸民族の音楽」【外国人】(11月)

道徳「異文化の人々と共に生きる」(2月)

(C(18)国際理解、国際貢献)

○2年「アイダ」【その他：戦争と平和】(2月)

道徳「アンネのバラ」(11月)

(C(18)国際理解、国際貢献)

○3年「ポピュラー音楽」【外国人】(11月)

英語科「Unit 5 A Legacy for Peace」(11月)

(人種差別)

本校の今年度「めざす授業」である「自ら伝えてつなげる授業」をもとに、各教科の特徴を踏まえて、各教科のめざす授業を設定してください。→「自ら」と「伝えて」の意味を含むようにする。

「1 一人一人の可能性を引き出す工夫」と「2 自己決定の場の工夫」については、どの教科にでも当てはまるような取組ではなく、教科の特性を生かした取組を具体的に書く。

※「R6年度」→「00 ショートカット」

→「03 めざす授業」のフォルダ内に昨年度作成した各教科の指導案や各教科の具体的な取組案がありますので、参考にしてください。

人権教育カリキュラムを参考にし、人権教育に関わる単元及び関連する教科の単元名を書く。

#### ☆データの保存場所

「00 R6 年度データ」→「00 ショートカット」  
→「03\_めざす授業」

のフォルダ内に、word 形式で各教科のファイルがあります。修正前のデータに上書きして構いません。

#### ☆ファイル名の変更

データの修正が完了したら、ファイル名の最後に【済】をつけてください。

〈修正前〉 R6 年度めざす授業 (教科名)

⇒ 〈修正後〉 R6 年度めざす授業 (教科名) 【済】

#### ☆データ修正の締切

4月12日(金)までをお願いします。

\*教科部会を行ってください。

#### 4 「かわきた授業スタイル」

かわきた授業スタイル(教師の心得) 小中9年間を通して、小中学校で共通して身につけさせたいこと

川北町学校教育研究会

授業に入る前に学習環境を整える

- ・服装(シャツイン・ズックのかかとなど)
  - ・身の回りの整頓(机の中・ロッカーの中・カバンの中・教卓の周りなど)
  - ・筆箱の中身(鉛筆・消しゴム・ペン・ものさし 学習に必要な道具)下敷き
- ◎机の上の準備と整頓(学習に使うものを休み時間にそろえて机の上に置く)
- ・ベル着→ベル学へ(自分たちで学習を始める。チャイムと同時に始める)
- ※強制的な授業規律の確立ではなく、自発的な授業規律の確立を目指す

#### か 課題をつかもう

⇒課題意識を持たせる

- ・考えたくなる課題の設定 →子ども達で課題が見つけれられるようにする
- ・課題提示の工夫
- ・授業の前に課題は子どもたちが分かっている状態に(前時での予告、単元計画)
- ・どの教科でもく >で課題を明記

#### わ わかった・できた に向けて伝え合おう

⇒わになって学び合い、深める

- ◎話し手を見て話す 聞き手は話し手の方を向く(相手意識をもつ)
- ・誰とでも話し合える人間関係(最後まで聞く・反応しながら聞く・わかろうとしながら聞く)
- ・発見が生まれる場面、わからないを出し合う場面を大切にする
- ・問い返しや切り返しの発問を用意しておく(話し合いのコーディネート)
- ・「自分の考えを比べて聞く」「関連付けて話す」の指導

#### き 今日の学びをまとめよう

⇒今日の学びをまとめる

- ・課題に対応したまとめに(まとめは子どもたちの言葉で)

#### た 確かめよう。できるかな？

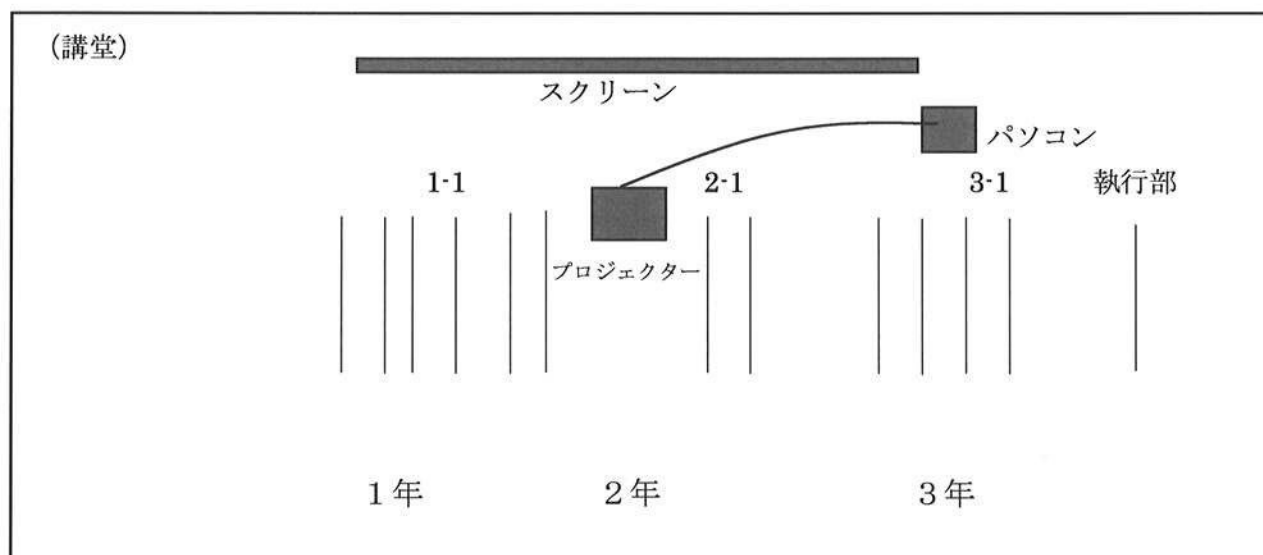
⇒大切にしたい定着とふり返り

- ・練習問題で定着を図る・活用問題でさらに発展的に
- ・家庭学習でさらに復習定着・自学の充実
- ・ふり返りの内容の充実

## 5 授業オリエンテーション

- 1 日程 4月12日(金) 6限 B日程 30分 \*全校集会・部活動紹介とともに開催
- 2 会場 講堂 \*椅子持ち
- 3 内容 今年度の授業で共通理解したいことの確認をする。(新1年生だけでなく在校生も先生も)  
「学習の手引き」P1～P2の内容を中心に行う。
  - ・「これから求められる力」と「川北中学校がめざす授業」の確認
  - ・「人権尊重の視点に立った学校生活(授業など)」の説明
  - ・「かわきた授業スタイル」と「授業のルール4か条」  
→スライド(パワーポイント)で説明  
(原稿読み→執行部2名、パソコン操作→学校研究担当)
  - ・「生徒主体の授業」の説明  
→スライド(パワーポイント)で説明、生徒会執行部による模擬授業

### 4 会場図



- 5 担当者 学校研究担当、生徒会執行部担当
- 6 事前準備 スライド・原稿作成【学校研究担当】
- 7 会場準備 マイク2本、パソコン、プロジェクター、スクリーン  
【学校研究担当、生徒会担当】
- 8 生徒会(生徒)との打ち合わせ 4月11日(木)放課後〔生徒会室・講堂〕
- 9 当日担当 生徒整列(執行部)、司会(研究主任)